

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.7
Q1 室内環境								2.9
1 音環境		2.5	0.15					2.5
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		1.8	0.40					
1 開口部遮音性能		1.0	0.60					
2 界壁遮音性能		3.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		3.0	0.20					
2 温熱環境		2.6	0.35					2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50					
1 室温		3.0	0.38					
2 外皮性能		3.0	0.25					
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38					
2.2 湿度制御		1.0	0.20					
2.3 空調方式		3.0	0.30					
3 光・視環境		2.7	0.25					2.7
3.1 昼光利用		1.8	0.30					
1 昼光率		1.0	0.60					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	0.40					
3.2 グレア対策		3.0	0.30					
1 昼光制御		3.0	1.00					
3.3 照度	事務所500lx	4.0	0.15					
3.4 照明制御		3.0	0.25					
4 空気質環境		3.7	0.25					3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50					
1 化学汚染物質	ほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用	4.0	1.00					
4.2 換気		3.6	0.30					
1 換気量	建築基準法を満たす換気量の1.2倍としている	4.0	0.33					
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/21.95以上	4.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33					
4.3 運用管理		3.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御		3.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					3.0
1 機能性		2.7	0.40					2.7
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40					
1 広さ・収納性		3.0	0.33					
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33					
3 バリアフリー計画		1.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30					
1 広さ感・景観	事務室CH=2.70m	4.0	0.33					
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース=執務スペース×100.2%	4.0	0.33					
3 内装計画		1.0	0.33					
1.3 維持管理		3.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30					3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	事務室: 床タイルカーペット(OA707)、壁ビニルクロス(PBt12.5)、天井岩綿吸音板t9(PBt9)	5.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水: VLP(B)、汚水排水: VP(B)、雑排水: VP(B)、Eは不使用	5.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.8	0.20	耐震クラスA	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	-	
	3	電気設備		2.0	0.20		-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	-	
	5	通信・情報設備		4.0	0.20		-	-	
3	対応性・更新性		2.0	0.20		-	-		
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	事務所階高3.65m、工場6.45m	3.4	0.30	耐震クラスA	-	3.4	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:1階、0.07	4.4	0.30		-	-	
	3.2 荷重のゆとり			4.0	0.60		-	-	
	3.3 設備の更新性			5.0	0.40		-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.30		-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.40		-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.30		-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.40		-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	-	
	Q3	室外環境(敷地内)		-	0.36			-	-
	1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30			-	2.4
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40		-	3.0		
3	地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30		-	2.0		
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	-		
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	-		
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-		-	3.2		
LR1	エネルギー		-	0.40		-	3.8		
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI=0.647	5.0	0.07		-	5.0		
2	自然エネルギー利用		3.0	0.12		-	3.0		
3	設備システムの高効率化		4.3	0.58		-	4.3		
	集合住宅以外の評価(3a.3b)	BEI=0.77、LED照明設備及び空冷ヒートポンプ空調機の採用	4.3	1.00		-	-		
	集合住宅の評価(3c)					-	-		
4	効率的運用		3.0	0.23		-	3.0		
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00		-	-		
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	-		
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	-		
	集合住宅の評価					-	-		
4.1	モニタリング					-	-		
4.2	運用管理体制					-	-		
LR2	資源・マテリアル		-	0.30		-	2.6		
1	水資源保護		2.2	0.20		-	2.2		
1.1	節水		1.0	0.40		-	-		
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	-		
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	-		
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	-		
2	非再生性資源の使用量削減		2.6	0.60		-	2.6		
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10		-	-		
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	-		
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	-		
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20		-	-		
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10		-	-		
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上げ材のデティールを採用	4.0	0.20		-	-		
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20		-	3.0		
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	-		
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70		-	-		
1	消火剤					-	-		
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	-		
3	冷媒		3.0	0.50		-	-		
LR3	敷地外環境		-	0.30		-	3.1		
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率=89%	3.4	0.33		-	3.4		
2	地域環境への配慮		3.0	0.33		-	3.0		
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25		-	-		
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	-		
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25		-	-		
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	-		
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	-		
3	交通負荷抑制	駐輪場、駐車場及び渋滞緩和対策である待機場を出入り口部分に確保	4.0	0.25		-	-		
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	-		
3	周辺環境への配慮		3.1	0.33		-	3.1		
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	-		
1	騒音		3.0	0.33		-	-		
2	振動		3.0	0.33		-	-		
3	悪臭		3.0	0.33		-	-		
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	-		
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	-		
2	砂塵の抑制					-	-		
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	-		
3.3	光害の抑制		3.7	0.20		-	-		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない	4.0	0.70		-	-		
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	-		